

第1回総会報告及び事業報告書公開のご案内

平成28年4月25日

各位 様

特定非営利活動法人
オホーツク自然エネルギー・プラットフォーム
代表理事 松田正弘

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。
平素は格別のご高配賜り、厚く御礼申し上げます。

さて過日平成28年3月26日（土）に特定非営利活動法人 オホーツク自然エネルギー・プラットフォームの第1回総会が執り行われました。
今般、その際報告させて頂いた、事業報告内容等に関しまして公開させていただきます。

総会は、代表理事の議事進行のもと、2015年度の事業報告・決算報告が各担当から行われ、全会一致にてすべての議案が承認されました。（議事録を参照）
また、2016年度の事業計画案、予算案が提示され承認されました。（添付資料を参照）

2016年度も、事業計画に基づき、活動を行って参ります、今後の詳しい活動状況に関しましては、随時オホーツク自然エネルギー・プラットフォーム（OHREP）のホームページやフェイスブック等で公開させていただきます、閲覧いただければ幸いです。
今後ともに OHREP にご支援、ご協力を賜りたく宜しくお願い申し上げます。

記

添付書類

- ・ 2015 年度第 1 回総会議事録
- ・ 2015 年度事業報告書
- ・ 2015 年度活動計算書
- ・ 2015 年度貸借対照表
- ・ 2015 年度財産目録
- ・ 2015 年度監査報告書
- ・ 2016 年度事業計画書
- ・ 2016 年度活動予算書
- ・ 2016 年度年間役員名簿

特定非営利活動法人 オホーツク自然エネルギー・プラットフォーム

〒063-0002 札幌市西区山の手 2 条 5 丁目 2-1-302

- a. ホームページ : <http://ohrep.jp>
- b. フェースブック : <https://www.facebook.com/OkhotskEnergy>
- c. メール : info@ohrep.jp
- d. L I N E@ : ID (@マーク含む) @jpy9497w
- e. T w i t t e r : primary_OHREP

尚、public.ohrep@gmail.comからのメールを受信許可に設定してください。

以上

特定非営利活動法人オホーツク自然エネルギー・プラットフォーム第1回総会議事録

1 日 時 2016 年 3 月 26 日 13 時 30 分 ～ 15 時 30 分

2 場 所 札幌市西区山の手 2 条 5 丁目 2 番 1 号－302 号

3 出席者数 14 名(うち、書面表決者 0 名、表決委任者 11 名)

4 提出議案

- (1) 第 1 号議案 2015 年度事業報告について
- (2) 第 2 号議案 2015 年度監査報告について
- (3) 第 3 号議案 役員の選任について
- (4) 第 4 号議案 2016 年度事業計画について

5 審議内容

(1) 第 1 号議案 2015 年度事業報告について

事業の実施について資料に基づき議長より報告され、これを審議に諮ったところ、満場一致を持って可決決定した。

(2) 第 2 号議案 2015 年度監査報告について

2015 年度の監査報告が財産目録及び活動計算書に基づき議長より報告があったが、その際理事森谷より立て替え金の精算時に、各理事の口座に振り込む時の手数料が活動計算書に計上されていない旨の指摘を受けた。

その為修正してこれを審議に諮ったところ、満場一致をもって可決決定した。

(3) 第 3 号議案 役員の選任について

役員選任について議長から設立当初の役員の選任について諮ったところ、審議の結果、次のとおり全員異議なく承認した。

理事 松田 正弘

理事 森谷 淳一

理事 佐藤 薫

監事 布谷 知美

(4) 第 4 号議案 2016 年度事業計画について

資料に基づき議長より報告されたが、2016 年度事業計画の「1. 事業実施の方針」で述べられている内容とそれに対応している「2. 事業の実施に関する事項」との内容の間に、整合性が取れていない部分があり、新たに項目を追加して修正した方が良いとの提案を理事森谷と理事佐藤より受けました。

審議に諮ったところ以下に記す 2 項目を追加修正することで、満場一致で可決決定しました。

1. 再生可能エネルギーに関する導入・促進事業の項目に、当法人と今後関わりを持つであろう地方公共団体、大学関係、その他、再生可能エネルギーに関する事業を行っている団体・法人名の記載と、具体的な活動内容を記載する。

2. 啓蒙・広報活動の「再生可能エネルギー及び省エネルギーに関するワークショップ開催」の項目に、「北海道環境生活部の地球温暖化防止活動推進員の制度の利用」を追加記載する。

以上、この議事録が正確であることを証します。

2016 年 3 月 26 日

議長 松田 正弘



議事録署名人 森谷 淳



議事録署名人 佐藤 薫



2015年度の事業報告書

2015年2月19日から2016年3月31日まで

特定非営利活動法人オホーツク自然エネルギー・プラットフォーム

1 事業の成果

- (1) オホーツク地域において持続性のある再生可能エネルギー源を用いた、地域のエネルギー基盤事業を計画するための調査・研究事業については、2015年5月に遠軽町・白滝地区において小水力発電の適地選定、水量調査のため湧別川水系の5つの支流に理事二名、会員一名で現地調査を行いました。
- (2) 再生可能エネルギーおよび省エネルギー等に関する導入、促進事業の一環として、札幌市に本社を置くパッシブホーム株式会社様が、江別市牧場町で東京ドーム1個分の土地に、持続可能なサステナブルコミュニティの展開を計画しており、今回そこに建設される集合住宅の冷暖房・給湯システムに関して、具体的な方法として再生可能エネルギーを利用した地中熱利用ヒートポンプシステムを提案させていただきました。
- (3) 再生可能エネルギーの導入・促進事業に関する会員活動としまして、2015年7月に「OHREP 会員メッセージ」を取りまとめました、観点は以下のとおりです、自然との共生、社会循環の仕組み、食、エネルギー、人的サポート（介護）での地域自立に向けた対応など、私たちが粘り強く力を発揮し、このメッセージを基軸に今後も活動を進めて参ります。
 - a. 自然エネルギーに思うこと
 - b. エネルギー施策に思うこと
 - c. エネルギーの将来への方向性に思うこと
 - d. エコ生活の知恵として思うこと
 - e. その他、関連する事項
- (4) 再生可能エネルギーの導入・促進事業の関連としまして、オフグリッドなOHREPハウスのための要件定義を実施致しました、その要件及び背景は、以下のようなものです。今後、網走市北浜のオホーツクスロービレッジ様、余市郡余市町の余市エコカレッジ様、他の関係者の皆様と共に外部設計に着手し進めて参ります。
 - a. 電力会社に依存せず、自然エネルギーで必要な電力自給が可能なこと
 - b. 地球温暖化の観点で2050年には、CO₂排出現状の80%まで削減したい
 - c. 送電網通過によるエネルギー消失は、多大である
 - d. 電力会社を選択できないため、原子力村のいいなりになるしかない
 - e. 原子力発電を利用しない選択ができない

- (5) 啓蒙・広報活動については、実践的な活動、また法人の安定的な運営を行うために継続した会員の募集活動、幅広い地域の人々への啓蒙活動を実施しました。結果としては会員増加には至らず、今後の課題を検討して継続して活動する必要があります。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の金額 (単位：千円)
持続可能なエネルギーに関する調査・研究事業	遠軽町・白滝地区における小水力発電の現地調査	(A) 2015. 4. 30 (B) 遠軽町・白滝地区 (C) 4 名	(D) 対象者なし (E) なし	0
再生可能エネルギーおよび省エネルギー等に関する導入、促進事業	S P T 江別に建設される集合住宅の冷暖房・給湯システムに関する再生可能エネルギーを利用したシステムの提案	(A) 2015. 11. 25 (B) 江別市 (C) 3 名	(D) 江別市民 (E) 1000 名程度	0
	「OHREP会員メッセージ」のとりまとめ	(A) 2015. 07. 20 (B) 事務所 (C) 18 名	(D) 会員、一般 (E) 複数	0
	オフグリッドなOHREPハウスのための要件定義	(A) 2015. 06. 21 (B) オホーツク、余市 (C) 1 名	(D) オホーツク地域 (E) 1000 名程度	0
啓蒙・広報活動	再生可能エネルギーおよび省エネルギーに関するワークショップ開催 「自分たちの地域のエネルギーのことを考える」	(A) 2015. 10. 31 午後 (B) 遠軽町ふくろうカフェ (C) 2 名	(D) 会員、一般町民 (E) 10 名	0
	ホームページ、Facebookでの広報	(A) 通年 (B) インターネット (C) 3 名	(D) 会員、Facebook登録者 (E) 350 名程度	0
	会員相互の情報共有、コミュニケーション強化 (LINEによるサービス提供)	(A) 2016. 3. 5 ～ (B) インターネット (C) 2 名	(D) 会員 (E) 18 名	0
	自治体への提案活動 (遠軽町長訪問、意見交換)	(A) 2015. 5. 1 (B) 遠軽町役場 (C) 1 名	(D) 対象者なし (E) なし	0

3 現状の課題

(1) 啓蒙・広報活動事業に関するイベント開催実施数の不足について

現在の活動の中心は、主に3人の理事によるものであり、慢性的なマンパワー不足に陥っている状況にあると言えます、設立当時よりこれは想定されていたことではありますが、実際に業務に携わってみると予想以上に本業に時間を取られており、NPO法人としてのイベント開催の検討に関して十分な活動時間の確保が出来ていないという状況です。また、イベントの内容に関しては、多様性という観点からのアプローチが不足し、ある特定の分野に固執してしまったことが予定した開催数に至らなかった要因であろうと考えております。

(2) 啓蒙・広報活動事業の会員数の伸び悩みについて

現在、賛同頂いている会員の多くは、知人や友人関係で入会して頂いている方が大半であり、集まる会員も限られています。またFacebookやLINEと言ったSNSも利用していますが、NPO法人としての知名度も低く、思うような会員数増加に至っていないのが実状です。

4 上記「3. 現状の課題」の解決に向けて

(1) イベント開催実施数不足の解消策について

現状を変えるのは困難な部分もありますので、限りある時間を有効に使えるように工夫します。早期に中期的なイベント開催計画を立て、実施する内容も多様性を持たせ事前に明確化します。場当たりの計画は、避けるようにします。外部団体制度「北海道環境生活部の地球温暖化防止活動推進員制度」等を利用します、これは、開催イベントに講師を無料で派遣して頂き、慢性的なマンパワー不足の解消と内容に多様性と更なる重みを持たせることで、今まで以上に積極的なイベント開催を計画することに繋がります。

(2) 会員数増加に向けての施策について

一般にサービス利用を目的とする人々は、そのサービスの内容が、入会や退会を決める要因になると思いますが、団体の理念に共感し、団体支援の意向が高い人々の場合は、団体やその活動への共感の度合いが、入会や退会を決める要因となります。当NPO法人においても、その活動に共感してもらえるように「団体の活動が社会や地域にとって、どのように役立っているのか」を積極的に発信し、活動の意義や成果を分かり易く伝えることが、会員獲得のための重要な一歩になり得ると考えています。その為にも情報発信の基になるホームページの定期的更新、マスメディアなどへの積極的な情報発信が有効であろうと考えます。「知名度を向上させ、より多くの人に興味を持って活動に賛同または参加して頂けるチャンスを増やすこと」、こういった施策により会員数増加という流れを作り出すことが出来ると考えております。

更に、NPO法人の総会という数少ない意思表示のチャンスにおいて、会員の参画度を高めるためのしくみや雰囲気づくりも考える必要があります。総会のタイミングで、イベント、講演会、会員同士の交流会などを開催するのも一案かと考えます。また、これら共感で繋がる者同士の関係強化、会員登録・更新率の向上にも繋がりたい。

2015年度 活動計算書
2015年2月19日から2016年3月31日まで

特定非営利活動法人オホーツク自然エネルギー・プラットフォーム
(単位：円)

科目	金額		
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員（個人）会費 × 14名	42,000		
正会員（団体）会費 × 1 名	5,000		
賛助会員会費 × 7 口	7,000		
2. 受取寄附金			
受取寄附金	4,000		
3. 受取助成金等			
受取助成金等	0		
4. 事業収益	0		
5. その他収益			
受取利息	9		
経常収益計			58,009
II 経常費用			
1. 事業費			
事業費計		0	
2. 管理費			
開業費（法人印鑑作成料）	6,804		
通信運搬費	1,682		
事務用品費	5,120		
印刷製本費	260		
支払い手数料（インターネット関連費）	10,346		
振込手数料	108		
印紙税	2,250		
管理費計		26,570	
経常費用計			26,570
当期経常増減額			31,439
III 経常外収益			
1. 固定資産売却益	0		
経常外収益計		0	
IV 経常外費用			
1. 過年度損益修正損	0		
経常外費用計		0	
税引前当期正味財産増減額			31,439
法人税、住民税及び事業税			0
当期正味財産増減額			31,439
前期繰越正味財産額			0
次期繰越正味財産額			31,439

※ 今年度はその他の事業を実施していません。

2015年度 貸借対照表

2016年3月31日現在

特定非営利活動法人オホーツク自然エネルギー・プラットフォーム
(単位：円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	52,439		
未収金	0		
流動資産合計		52,439	
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
有形固定資産計	0		
(2) 無形固定資産			
無形固定資産計	0		
(3) 投資その他の資産			
投資その他の資産計	0		
固定資産合計		0	
資産合計			52,439
II 負債の部			
1. 流動負債			
前受金 2016年度年会費前受け分	21,000		
流動負債合計		21,000	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			21,000
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産			0
当期正味財産増減額			31,439
正味財産合計			31,439
負債及び正味財産合計			52,439

2015年度 財産目録

2016年 3月 31日現在

特定非営利活動法人オホーツク自然エネルギー・プラットフォーム
(単位：円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手元現金	1,254		
ジャパンネット銀行普通預金	51,185		
未収金			
事業未収金	0		
流動資産合計		52,439	
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
有形固定資産計	0		
(2) 無形固定資産			
無形固定資産計	0		
(3) 投資その他の資産			
投資その他の資産計	0		
固定資産合計		0	
資産合計			52,439
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	0		
前受金 2016年度年会費の前受金	21,000		
預り金	0		
流動負債合計		21,000	
2. 固定負債			
長期借入金			
銀行借入金	0		
固定負債合計		0	
負債合計			21,000
正味財産			31,439

監事監査報告書

特定非営利活動法人

オホーツク自然エネルギー・プラットフォーム

代表理事 松田 正弘 殿

2016 年 3 月 25 日

特定非営利活動法人

オホーツク自然エネルギー・プラットフォーム

監事 布谷 知美



私は平成 27 年 2 月 19 日から平成 28 年 3 月 31 日までの会計、および業務の監査を行い、次のとおり報告いたします。

1. 監査方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿ならびに関係書類の閲覧等必要と思われる監査手続きを用いて計算書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査について、報告書を確認し、また理事から業務の報告を聴取し関係書類の閲覧等必要と思われる監査手続きを用いて、業務執行の妥当性を検討した。

2. 監査意見

- (1) 活動（収支）計算書、貸借対照表、財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支状況および財産状態を正しく示しているものと認める。
- (2) 事業報告書の内容は真実であると認める。
- (3) 理事の職務執行に関する不正行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

以上

2016年度事業計画書

2016 年 4 月 1 日から 2017 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人オホーツク自然エネルギー・プラットフォーム

1 事業実施の方針

- ・ オホーツク地域において具体的な持続性のある再生可能エネルギー源を用いた、地域のエネルギー基盤事業の導入・促進に関する実施計画の立案、及び策定を実施する。
- ・ 継続して、実践的な活動、また法人の安定的な運営を行うために継続した会員の募集活動、幅広い地域の人々への啓蒙活動を実施する。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の 事業名	事業内容	実施予定月日	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び 予定人数	支出見込額 (千円)
再生可能エネルギーに関する導入・促進事業	再生可能エネルギー及び省エネルギーの積極的な導入に向けて、大学や民間企業、地方公共団体との連携による共同研究・技術開発などに積極的に関与する。 具体的にはオホーツク地域で独自に再生可能エネルギーの研究を実施している北見工大様や遠軽町様との連携による再生可能エネルギーを利用した具体的な事業の実施や、道央圏でパッシブ工法という画期的な住宅システムを独自に展開しているパッシブホーム(株)様企画への提案など。	通年	札幌、オホーツク地域	20 人	不特定多数の市民	45
啓蒙・広報活動	再生可能エネルギー及び省エネルギーに関するワークショップを開催する。 具体的には北海道環境生活部の地球温暖化防止活動推進員制度を利用し、内容に多様性と更なる重みを持たせたイベント開催など。	年 2 回	オホーツク地域	5 人	地域住民、延べ 40 人	20
	会員募集活動(継続)	通年		5 人	不特定多数の市民	5

2016年度 活動予算書

2016年 4月 1日 から 2017年 3月 31日まで

特定非営利活動法人オホーツク自然エネルギー・プラットフォーム

科目		金額（単位：円）		
I 経常収益				
1 受取会費				
正会員受取会費	¥3,000× 20名	60,000		
賛助会員受取会費		10,000		
受取会費 小計				70,000
2 受取寄附金				
受取寄附金	0			
3 受取助成金等				
受取民間助成金	0			
4 事業収益				
事業収益	0			
5 その他収益				
受取利息	0			
雑収益	0			
経常収益計				70,000
II 経常費用				
1 事業費				
(1) 人件費				
給料手当	0			
法定福利費	0			
福利厚生費	0			
人件費計	0			
(2) その他経費				
会議費	50,000			
旅費交通費	0			
施設等評価費用	0			
減価償却費	0			
支払利息	0			
その他経費計	50,000			
事業費計		50,000		

2	管理費			
(1)	人件費			
	役員報酬	0		
	給料手当	0		
	法定福利費	0		
	福利厚生費	0		
	人件費計	0		
(2)	その他経費			
	会議費	5,000		
	旅費交通費	0		
	事務費（コピー代含む）	15,000		
	支払利息	0		
	その他経費計	20,000		
	管理費計		20,000	
	経常費用計			70,000
	当期経常増減額			0
Ⅲ	経常外収益			
	経常外収益計			0
Ⅳ	経常外費用			
	経常外費用計			0
	当期正味財産増減額			0
	前期繰越正味財産額			31,439
	次期繰越正味財産額			31,439

※ 当該年度はその他の事業の実施を予定していません。

要綱様式 5

前事業年度の年間役員名簿

2016 年 4 月 1 日から 2017 年 3 月 31 日まで

法人名		特定非営利法人オホーツク自然エネルギー・プラットフォーム		
役 名	氏 名	住 所 又 は 居 所	就任期間	報酬を受けた期間
理事	松田 正弘	札幌市豊平区美園 5 条 2 丁目 1 - 2 0 - 2 0 5 号	平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日	報酬なし
理事	森谷 淳一	札幌市中央区南 4 条西 1 0 丁目 1 0 0 5 番地 4 プレ リオン札幌南 4 条 3 0 2 号	同上	報酬なし
理事	佐藤 薫	札幌市西区山の手 2 条 5 丁目 2 番 1 - 3 0 2 号	同上	報酬なし
監事	布谷 知美	横浜市鶴見区矢向三丁目 1 1 番 5 - 3 0 2 号	同上	報酬なし

- 注 1 「氏名」、「住所又は居所」、「就任期間」及び「報酬を受けた期間」は、全ての役員について記載してください。
- 2 「氏名」、「住所又は居所」の欄には、特定非営利活動促進法施行条例第 2 条第 2 項に掲げる書面によって証された氏名、住所又は居所を記載してください。
- 3 「報酬を受けた期間」の欄には、報酬を受けたことがある役員はその期間を、報酬を受けなかった役員については「報酬なし」とそれぞれ記載してください。